

俳句 大津俳句会

はつきりと近づくほどに花棟はなむら

井芹眞一郎

天帝てんていの金粉散らす麦の秋

秋山 恵

雨上がり日差しに光る著莪の花

市原 初女

鮮やかに咲はじめたる鉄線花てつせんか

大塚喜久子

年毎に強く大きく薔薇の花

佐賀 久子

病窓へ川風にのり柳絮りゅうじよ飛ぶ

松尾 昭雅

草も木も風も輝く立夏かな

岡崎 浩子

ふるさとの灰汁あくまじ巻き届く五月かな

佐澤 俊子

俳句 つのはな句会

花冷えやスマホの友の細い声

塚本 洋子

地球儀のきしみむなく花は葉に

柴田しのぶ

病床に春丸呑みす カメレオン

志賀 孝子

聖五月深くしずかに「イマジン」

田上 公代

筆文字の撥ねて五月の清々し

木庭 杏子

金電子地雷の大地旋回す

上杉 波

起きて寝る暮らしにも棘花いばら

矢嶋 道子

葉桜の山鹿温泉友と笑む

水野 春子

青葉風 阿蘇の峰々さえわたる

梅木トキエ

短歌 大津短歌会

泣きもせで死体の親に添う子猫小
糠雨降る轍わたらの中に

吉永 恵子

外壁の補修の男に降りに降る名残
の梅の白き花びら

坂本 杲子

零下五℃開花遅れし木蓮の一時開
きて一際眩し

鞍 岳志

静なる今日サンデイは白肅かな独
りごとと言う夕餉を前に

管野 静

渡り来る白鳥の群れ見るさまに誇
らしく咲くカニバサボテン

豊岡ミツル

桜花愛でる間もなく去り行きて青
葉の陰に梅の実見ゆる

小平 善行

生涯学習情報誌3・4月号のお詫びと訂正

生涯学習情報誌3月号および4月号の6ページ「俳句・短歌」につきまして、誤りがありました。正しくは次のとおりです。

大津短歌会

3月号

寒波来し白く輝く冬水田あさの陽ざしの桑↓らに照らす寒波来し白く輝く冬水田あさの陽ざしの桑↓らに照らす

鞍 岳志

4月号

閉ざされし学舎の閉校記念日↓の夕陽をうけてひっそりと建つ閉ざされし学舎の閉校記念碑↓の夕陽をうけてひっそりと建つ

鞍 岳志

お詫びのうえ訂正させていただきます。